

第1回 丹後教科用図書採択地区協議会 議事概要

平成30年4月17日（火）17:30～18:00
京都府宮津総合庁舎別棟2階 講堂

- 1 開会
- 2 丹後教科用図書採択地区協議会規約の確認等について
 - (1) 丹後教科用図書採択地区協議会規約について
 - (2) 会長、副会長、監査委員及び事務局長の選任について
- 3 会長あいさつ（地区協議会会長 伊根町石野教育長）
- 4 丹後教科用図書採択地区協議会役員について
 - ・丹後教科用図書採択地区協議会申合せ事項の承認に基づき、平成30年度の役員を決定
 - 〈会長〉：伊根町教育委員会 石野 渡 教育長
 - 〈副会長〉：与謝野町教育委員会 塩見 定生 教育長
 - 〈監査委員〉：宮津市教育委員会 山本 雅弘 教育長
 - 〈監査委員〉：京丹後市教育委員会 吉岡 喜代和 教育長
- 5 平成30年度採択地区協議会に関する事項の確認について
 - ・平成30年2月14日に確認された内容について再度確認
- 6 平成30年度教科用図書の採択に係る日程（案）並びに予算（案）について
 - ・採択に係る日程（案）並びに予算（案）について、事務局が説明
 - ・承認
- 7 調査員の委嘱（案）について
 - ・調査員の委嘱（案）について、事務局が説明
 - ・承認
- 8 閉会

第2回 丹後教科用図書採択地区協議会 議事概要

平成30年7月27日(金) 13:30~17:00
京都府宮津総合庁舎別棟2階 講堂

1 開会(地区協議会会長あいさつ 伊根町石野教育長)

2 平成31年度丹後地区使用中学校教科用図書(道徳)に関する研究報告

【道徳】

① 代表調査員の報告

- ・調査員5名 調査研究2回実施
- ・報告内容 中学校教科用図書調査研究報告書(P1~2)のとおり

② 代表調査員への質疑

- ・委員 次の2点について教えていただきたい。

1. 道徳の評価をしていかなければいけないときに、自己評価を書き込む欄があるところとか、保護者に意見を求める欄があるものとそれが全くないもの、というような特色を報告していただきましたが、その違いは教えられる側にとって大きな違いになるものですか。また、採択する際に大きなポイントになるものでしょうか。

2. 読み取りになってしまいそうな長文のところもあったと思いますが、「より良く生きるために」という道徳の趣旨に合うような教材というのを感じられた教科書はありましたか。逆に、限られた授業時間の中で、その時間がとられてしまうのではないかなと感じられた教材はありませんでしたか。

- ・代表調査員 1. 私個人としては、学期ごとや教材ごとなど、いろんなレベルで自己評価の部分をしっかりしていくということは、すごく大きなポイントだと思います。また、保護者への通知については、他の部分でもいろいろ手段はあるので、通知についての掲載がなくても大きなポイントではないかも知れないと考えます。

2. 長文の読み取りに終始してしまい、50分間の授業でその教材が使いこなせるのか。生き方を自分で振り返るような活用ができるのかというご指摘ですが、冊子をいただいた中で特徴だと感じたのは、伝記とか今活躍している人などの部分の教材が多い教科書と少ない教科書に分かれている、少ない方は逆にそれが長文になっている教科書かもわかりませんが、あかつきはどちらかと言えば伝記とか偉人などの部分を扱っている率は少し少ないと感じました。教材が長文なのか、そうでないかにかかわらず、その扱い方については、50分間を想定してどのように道徳の時間を進めていくかではないかと思います。

- ・委員 内容項目を記載しないことで、特定の「価値観を押し付けない」ように工夫している教材は東書でしたか。

- ・代表調査員 東書と他にもありました。

- ・委員 先生方として、道徳の評価をしていかなければいけないときに、教える側としては内容項目を表示している場合とそうでない場合とでは、どちらの方が教えやすいですか。

- ・代表調査員 全くの個人的な意見になりますが、私は価値項目を表示していなくてもいいと思います。教師は必ず別資料に『この授業は、この価値項目』という部分は持っています。ですから『生徒に見える形にはあえてしない』という意図が、指導者としてはよくわかります。

- ・委員 保護者の立場としては、価値項目を表示している方が、こういう観点で教えているのだなということがよくわかると思いました。
- ・代表調査員 委員がおっしゃるように、後で、「こういう道徳を教えました。こういう価値項目について学びました。」と示すのは大事かと思いますが、学ぶ前に「今日はこの価値項目で勉強するんだな」ということがわかっていなくてもいいと思います。
- ・委員 学習指導を進めるうえで適切であることの一つ、役割倫理の点についてですが、小学校では、読み取りだけではなく、動作化したり、劇化したりして、心情的な部分が理解できることをよくやりますが、あの教科書を見せてもらって、本当に中学生がやるのだろうかと思ったのですが、先生方はどんな感想を持っておられるのでしょうか。
- ・代表調査員 個人的な思いになりますが、委員がおっしゃるように、『前に出てきて役を決めてやる』というのは、やはり学級集団ができていないと非常に難しいと思います。グループの中で役になりきってやるという方が、まだ、前に出ないことで注目されず、その役の気持ちになって自己表現ができるのではないかと思います。いずれにしても、学級集団が大事かと思います。
- ・委員 私もそのように思っていて、いわゆる担任と子どもとの人間関係がないとなかなかそこは難しいと思います。ここに書いてあるような『考え議論する道徳』にしていくためには、常日頃の学級経営上の問題と大きく関係してくるのかなと思いつつ見ていました。ぜひ、先生方にとっても、いわゆる読み取りではなくて、『自分ならどうするんだ』という考えになるような教材を使って指導してもらいたいと思います。そういう面で配慮してあるような教材が見えたということでしょうか。
- ・代表調査員 多い少ないはありましたが、どの教科書にもそれらしく役割を持って触れるような教材は準備しているというか、中身になっていると思います。
- ・委員 価値観について書かれていないというのは、教材のところに書かれていないということですか。例えば、目次には書かれているが、教材には書いてないということですか。
- ・代表調査員 目次には書かれているが、教材の始まりのところには書いてないということです。
- ・委員 『重点を何においているのか』というところで、日本教科書だけが『友情と信頼』、ほかのところは『命の尊さ』で、ちょっとそこだけ特殊なのかなという感じがしたのですが。道徳が評価されるというときに、『思想的に偏りが出るのではないか』という心配の声があります。もちろん検定本なので偏りがないことはわかっていますが、何か思想的な意味での特徴がありましたか。
- ・代表調査員 それはあまり感じませんでした。思想的かどうかはわかりませんが、特徴は出そうとされていたのだと思います。日本教科書だけが22項目になっていたので、使う方としては、その流れは他の7つの教科書のA観点やB観点はこうだと適宜分かれている方が扱いやすいと思います。
- ・委員 今回の道徳については、『考え議論する』という大きなテーマが入ってきたわけですが、そういう中で、先人偉人、伝記もの的なものと、そうではないものと、どちらの方がやりやすいと先生は考えますか。みんなが知っている人の人生が書かれているものと、心の葛藤を呼ぶような生活場面であるような中身で書いてあるものとは、『考え議論する』という視点だけで見た場合に、指導する側としてはどちらの方がよろしいですか。
- ・代表調査員 私個人としては、結論は、どちらにしても対話的・主体的な道徳にしなければならないということです。伝記などは「〇〇さんは偉大だった」というレベルで終

わってしまう部分もあるかと思いますが、すべての子が入っていきやすく、その議論に仕掛けづくりがしやすいのは、生活の部分とかいろんなストーリー的なものが書かれた教材の方がやりやすいのかなという思いはします。

- ・委員 私も伝記や偉人については、人生の一つとしてサクセスストーリー的な書き方の部分が載っているのだと思うので、そうしたときに、「なかなか凄いなあ」というレベルの話で終わっていて、「まあ、努力はすべきだ」という単純な話し合いに終了してしまうのであればどうなのかなと思ったのでお尋ねしました。
- ・委員 教科書によって、微妙に読みづらいと感じたのですが、そういうことは議論になりませんでしたか。また、別冊ノートの扱いは調査の中で議論になりましたか。
- ・代表調査員 読みやすさについては、2段に分けて縦書きになっている教科書や1段でずっと書いてあるものもありましたが、その違いはあまり感じなかったのですが、文字の大きさは確かに違いました。学研は教科書の版は大きいですが文字は細かい。学校図書は全学年読みやすい、サイズが大きかったです。文字の大きさが見やすかったのは、学校図書とあかつきと教出の3社でした。
別冊については、私個人はよいと思いました。授業では教師は、教材を深めていくときの議論とかそういう部分でワークシートを用意するのですが、日文の別冊は、そのワークシートの代わりになるような、しかも評価をするときにはその部分だけを回収して使えるような形になっていて使い勝手が良いように思いました。また、あかつきの別冊は、別の意味で価値項目を違う視点で、押し付けではないけれどこうだねという形をコラム的に書いておいて、その価値項目に対して書くような別冊になっていたのも、それはそれでまた子どもがどこまで深く学べたかを読み取るには良い別冊ではないかと感じました。別冊が良い悪いということの議論は5人の調査員では十分にはしませんでした、「別冊にはねらいの違いがある」ということは話が出ていました。

3 平成31年度丹後地区使用小学校用教科用図書に関する各教科別研究報告

●京丹後地区と与謝地区で異なる教科書を使用している教科

【国語・書写】

① 代表調査員の報告

- ・調査員5名 調査研究2回実施
- ・報告内容 教科用図書調査研究報告書(国語P1～2・書写P3～4)のとおり

② 代表調査員への質疑

- ・委員 小学校の授業にも英語が入ってきている状況で、余計、国語の重要性というか、日本語の重要性というか、本来、日本語が持っている美しさとか、きちっと話す・聞くができていくかなどが重要になってくるが、そのような観点でいえばどれか。
- ・代表調査員 熟読させていただきましたが、どちらの教科書につきましても大変工夫がなされておりまして、実際に扱っている中身についても、どちらも共通して言葉の力を豊かにつけることはできる内容だと思います。
- ・委員 先ほどの報告を聞いていても、レベルみたいなものが違うというか、難しさというか、入りやすいとか、読みやすいとかいう違いはどうか。
- ・代表調査員 それぞれの好みを差し引いても、非常にキャラクターなども工夫がされていて、また教科書を開いた際の色彩も豊かですので、そういう面では子どもの興味・関心というところはどちらについても高いと思います。
- ・委員 東書の(3)のところ、『全学年との系統性を明らかにしている』というところは私は正直気がつかなかったのですが、どういったところが普段授業する中で全学

年との系統性ということが大切なところになるのかということをお教えいただきたいと思います。

- ・代表調査員 国語の系統性につきましては、例えば『話す・聞く』というようなことでは、主語・述語というものが1年生段階では出てきて、そこに修飾語が入ってきたり、接続語が入ってきたりして日本語として豊かな表現ができていくように段階を上げていく中で学んでいきます。1年生で学んだ例えば主語・述語といったものは、高学年になると当然そこはわかった上で、次により効果的な文章表現ですとか、段落の構成といった『読み・書き』というところに広がっていくというところでは。
- ・委員 報告書には書かれていないが光村の方も当然そういったところはある。別に東書の方が優れているということではないのでしょうか。
- ・代表調査員 光村の方には少し違う書き方をさせていただいておまして、螺旋的、反復的に配列しているということで、基礎基本的なところを書いています。系統的という部分と似たような表現になります。
- ・委員 内容的な事ではないですけれど、単純に光村と東書を比べた時に随分ページ数が4年生まで違う(30ページくらいの差がある)ように感じたのですが。
- ・代表調査員 実は本編といわれます部分については、光村の方が多かったり、東書が多かったりということで固定していないのです。附則の部分で東書が少しページ数がとってありますので、教科書を見たときには少しボリュームがあるように思われるところだと思います。実際は本編のところを使って学習しますので、附則の所は子どもへの負担感はあまり変わらないと思います。
- ・委員 ここにも書いてありますけれど例えば、中学校との接続、古典的な部分に関わって何か特徴的に見られたところがありますか。というのは中学校で、古典・漢文を習うと思うのですが、それについて配慮されている部分で特徴的なところとかあれば教えていただきたいです。
- ・代表調査員 特にどちらかがということはありません。どちらとも丁寧に扱っているなと思っています。
- ・委員 単純に物語文であったり説明文であったり、様々なものがあると思うんですけれど、文章のクオリティーの部分でいうと何か特徴的に思われる部分はありますか。
- ・代表調査員 非常に、精密に作られているなという感想ですので、好みはそれぞれにあると思いますが、クオリティーはどちらとも高いとしか言えません。

【社会・地図】

① 代表調査員の報告

- ・調査員5名 調査研究3回実施
- ・報告内容 教科用図書調査研究報告書(社会P5・地図P6)のとおり

② 代表調査員への質疑

- ・委員 次の2点についてお願いします。
 1. 社会科の教科書の方で、いわゆるセンシティブの問題というか、条例問題であるとか、人権に関わる問題であるとかあるいは原子力に関わる部分であるとかのへんで特に特徴的な記述であるとか、何か配慮がなされている内容であるとか、憲法9条も含めて、そういった部分の何か配慮が考えられているというような教科書の特徴がありましたか。
 2. 地図の方に関わって、中学校にというよりも、地図本来の役割ということをお考えたときにどちらの地図の方が、子どもたちに力をつけていきやすいかというよう

に感じられたかどうか。というのは東書の地図にはいろんなイラストがあって確かにビジュアル的には捉えやすいというものの、将来、地図を見て考えたり、地図本来の役割を考えたときに果たしてああいう地図でいいのかどうかというのを個人的に思っているの、そのあたりも含めてお聞かせいただきたい。

- ・代表調査員 1. 教科書の特徴的なところについてはその観点について調べましたが、その中には特に調査員の方からも私の方からも感じているところはありません。
- 2. 地図帳の方については、それぞれ特徴がありますが、中学校まで考えたという視点で調べていませんのではっきり申し上げることができません。
- ・委員 社会科は現在東書を使っているの、地図帳も東書とする場合に、同じ出版社の教科書を使うことによるメリットとか、社会科の授業と地図との関連について、これが教えられる側にとってメリットだと感じられることがあるのか、また実際、教科書、地図帳を見て、これが関連しているから扱いやすいなというところを感じられたところがあれば教えていただきたい。
- ・代表調査員 同じ教科書会社でありましたけれども、調査員の調査の様子も、それから私が教えているときの様子も、会社と一緒にだから同じだと思ったことはありません。調査員の調査の中でも関連しているなど言うつぶやきも意見もありませんでした。
- ・委員 特に同じ出版社だからというメリットは、そう大きくないということですか。
- ・代表調査員 大きくはないと思います。

【生活】

① 代表調査員の報告

- ・調査員 5名 調査研究 2回実施
- ・報告内容 教科用図書調査研究報告書(P 1 0～1 2)のとおり

② 代表調査員への質疑

- ・委員 教科書で取り上げられている教材の単元ごとの順番に業者ごとの特徴があれば押していただきたい。
- ・代表調査員 光村の方はどちらかという関連したものがまとめて提示してありました。啓林館は順番に指導していけば良いという流れでした。
- ・委員 生活科は教科横断的な要素が強いです、その教科横断的な要素とか、それから3年生以上の主には社会や理科との繋がりでいうと、どちらか2社で特徴はありますか。
- ・代表調査員 どちらも教科横断的な部分はしっかりとらえて指導できるような工夫がされました。ですから、特にこちらがというような特徴というものは感じられなかったです。どちらの教科書においても他教科との関連を、また幼稚園・保育所との関連をというようなこと、3年生以降の理科・社会との関連を意識しているのと工夫が見られました。
- ・委員 今おっしゃったように、理科・社会や幼稚園・保育所との連携を大切に活動ということが啓林館の方に書いてありますし、教室外での活動が生活科は多いと思うのですが、そういった面での安全面だとかマナー面だとか、そういった指導に関わっての丁寧な記載というか、そういったものが感じられた教科書はどちらでしょうか。
- ・代表調査員 どちらもそのあたりが書いてあったのですが、啓林館にある『たんけんブック』は穴が開いていて、首に提げてそれを持って出掛ければいろんなことを調べられたり、それから「こういうことに気をつけましょう」というようなことが書いてあったりというように、『携帯して出掛ける』というところに啓林館は特徴的なも

のがあるかなと思いました。

【音楽】

① 代表調査員の報告

- ・ 調査員 5名 調査研究 2回実施
- ・ 報告内容 教科用図書調査研究報告書(P 1 3)のとおり

② 代表調査員への質疑

- ・ 委員 与謝野町では人数が少ない学年がたくさんありまして、12、3 人ぐらいの学年が形成されています。その学年でも先生のご指導でたぶん、どっちの教科書を使われても指導は大丈夫だと思いますが、特にそういう少ない人数でも大丈夫かどうかというようなことについては話し合いには出ましたでしょうか。
- ・ 代表調査員 その点につきましては低、中、高 2 学年ずつのまとまりになっているということが、ここには表記してありませんけれど意見としてはでておりました。その内容については 2 学年で指導すれば十分活動できるということで考えております。
- ・ 委員 前回の調査されたときに、どちらかという和教育出版の方に流行曲のような子どもたちに人気の曲が多くて、今回の調査では教育芸術社の採択基準の 2 番と 3 番のところに子どもたちが歌いたいと思える曲がたくさんあると書いてあるのですが、ここでいう子どもたちが歌いたい曲とは具体的にはどんな曲でしょうか。
- ・ 代表調査員 教育出版の方につきましては、最新の歌も入っているのですが古い曲と言ったらあれなのですが、昔から歌われているような曲が多くて、教育芸術社の方では、昔から歌われている曲もいくつかありますけれども、歌詞とかリズムなど考えると、子どもたちが意欲を持って歌いたいと思えるような曲が多かったです。
- ・ 委員 この報告書を見せていただいてボリュームが違いますが、違うということについて、要するに教育芸術社の方が工夫とか様々な特徴点が多いと捉えたらいいのでしょうか。それともまとめていただいていて結果こうなったという感じでしょうか。
- ・ 代表調査員 一つの文章につきましては教育出版の方は短い言葉でまとめられていますが、教育芸術社についてはちょっと詳しくなっちゃったということもあります。
- ・ 委員 量でどうのこうのということはないということですか。
- ・ 代表調査員 ないです。量で見ていただかない方がいいです。
- ・ 委員 先ほど、子どもたちが歌いたいと思える歌がたくさんある、メッセージ性のある楽曲を教育芸術社がということでしたけれども、子どもの立場になるとそういう感じがいいかなという思いはするのですが、指導者の立場に立つと反対に、こういう構成になっている方が教科書としては使いやすいかかなというような差はありましたか。
- ・ 代表調査員 子どもの立場とか指導者の立場として調査を行いましたので、決して子どもだけというような偏りは無いように調査をしたつもりなのですが、調査員で話し合いをしていく中で複数の調査員の方がメッセージ性が強いなということで、子どもだけではなく、教師が指導する側も指導しやすい曲が多いのではないかとということで調査をまとめています。
- ・ 委員 それは、『子どもが』ではなくて、『教師が』という主語がどちらにも当てはまるということで考えたらいいですか。
- ・ 代表調査員 そうです。

【家庭】

① 代表調査員の報告

- ・ 調査員 5 名 調査研究 2 回実施
- ・ 報告内容 教科用図書調査研究報告書(P 1 5)のとおり

② 代表調査員への質疑

- ・ 委員 どちらも伝統食、各地域の食事なんかを記載されていると思うのですが、どちらか丹後に特記したような例が多いようなことを感じた教科書はなかったですか。
- ・ 代表調査員 丹後というものは感じませんでした。ただ、先ほども説明させていただきましたように写真が多く使われているのが開隆堂さんの方だなというように感じました。
- ・ 委員 地域の郷土食もたくさん開隆堂の方が載って多様な感じですか。
- ・ 代表調査員 はい。どちらもありますけれども、情報量としては開隆堂さんの方かと。
- ・ 委員 巻末の索引については、開隆堂の方にはあって、東書にはないということですか。
- ・ 代表調査員 はい。

●京丹後地区と与謝地区で同一の教科書を使用している教科

【理科】

① 代表調査員の報告

- ・ 調査員 2 名 調査研究 1 回実施
- ・ 報告内容 教科用図書調査研究報告書(P 9)のとおり

② 代表調査員への質疑

- ・ 特になし

【算数】

① 代表調査員の報告

- ・ 調査員 2 名 調査研究 2 回実施
- ・ 報告内容 教科用図書調査研究報告書(P 7～8)のとおり

② 代表調査員への質疑

- ・ 委員 縦の系列についてももう少し詳しく教えてください。
- ・ 代表調査員 例えば、図形領域が 3 年生で分岐しますから、6 月にそれが出てきたとしましたら、5 年生、6 年生でも同じ時期に図形領域が出てきますので、そういう意味です。
- ・ 委員 他の教科書もだいたい似たような作りはしてありますが、それはこの教科書が特徴的なところだと言えるのですか。
- ・ 代表調査員 他の教科書も似たような傾向があるではないかと思います。
- ・ 委員 特にこの教科書の特徴として、先生が教える立場ではどちらにもいい面として捉えているわけですね。
- ・ 代表調査員 はい。

【図画工作】

① 代表調査員の報告

- ・ 調査員 2 名 調査研究 2 回実施
- ・ 報告内容 教科用図書調査研究報告書(P 1 4)のとおり

② 代表調査員への質疑

- ・ 委員 図画工作というと時間数がすごく少なくて、その源という部分でいえば枠に置かれた風な感じはあるのですが、小学生の子どもたちにもたらす、効果みたいなものについて、個人的な意見でいいので聞かせてください。

- ・代表調査員 表現とか鑑賞という活動を通して、造形的な見方とか、それから考え方を豊かにするという部分があると私は思っていますし、それから図画工作には形とか色といったような、その教科特有の言語というかそういうものが入っていると思いますので、そういう材料と向かい合って、そういうことで自己内対話などを繰り返す時間はとっても大切だなと思います。
- ・委員 それに適した教科書であるというふうに思っていらっしゃると。
- ・代表調査員 はい。

【保健体育】

- ① 代表調査員の報告
 - ・調査員 2名 調査研究 2回実施
 - ・報告内容 教科用図書調査研究報告書(P 1 6)のとおり
- ② 代表調査員への質疑
 - ・特になし

【委員打ち合わせ】

- ・会長 代表調査員からの研究報告は全教科終了したが、本日の報告で不十分なところがあれば再度、報告を求めることもできる。本日の報告で終了としてよいか。
- ・委員 異議なし
- ・会長 今後の採択で考えていかなければいけないことはないか。
- ・委員 与謝で最終的に決定をするときは挙手で決めたが、挙手となると京丹後の委員が少ないが、最終的な決定は挙手にするのか。
- ・会長 公正公立な採択を行うため、それぞれの意見を交流し、できるだけ話し合いを持って、合議で決定したいと考えるがどうか。
- ・委員 異議なし
- ・会長 次回の協議会（第3回丹後教科用図書採択地区協議会）は、8月1日を予定しているが、教科書選定について協議がまとまらない場合は8月6日にも開催することとしてよろしいか。
- ・委員 異議なし

- 4 今後の予定
 - ・事務局 次回協議会 8月1日（水）13時30分～

5 閉会

第3回 丹後教科用図書採択地区協議会 議事概要

平成30年8月1日(水) 13:30~15:30

京都府宮津総合庁舎別棟2階 講堂

1 開会(地区協議会会長あいさつ 石野教育長)

2 平成31年度丹後地区使用教科用図書にかかる選定協議

【選定方法について】

会 長：選定協議を開始します。はじめに、中学校の道徳を、次に小学校の同一出版社の教科書、次に異なる出版社の教科書の順に協議に入ります。

中学校道徳は通常の選定協議とし、小学校の同一の教科書については、継続して使用するかどうかの協議、最後に異なる教科書については、どちらかを選定する協議をするということによろしいか。

選定方法ですが、意見交流を行い、合議の上で、最終的には挙手で行うということによろしいか。

なお、各市町教育委員会の採択については、協議会で選定したものを採択いただくようお願いしたい。

【中学校 道徳】

会 長：はじめに中学校の道徳について協議をお願いします。

委 員：あかつきについては、非常によくできている本、教科書だと思う。何を学ぶのか具体的に理解ができる。特に、全学年同じ題材・項目でテーマと趣旨に沿った内容になっていてクオリティも高いものがある。東書においては、写真や挿絵がバランスよく構成され、特定の価値観を押し付けないものになっている。

委 員：内容的にはあかつきが一番いいと思う。子どもにとって、何が一番大事なのかということを中心に考えていかなければならない。子どもにとっての日常生活や、様々なことを題材に取り上げているのはあかつき。それらを使って、様々な場面で子どもたちに考えさせていくという点ではあかつきの方がよい。子どもにとって、自身の道徳性であったり、様々な成長の中でいろんな葛藤を与えたり、いろんな考え方があるということをいろんな場面で知らせていく必要があると思うので、そういう意味で、あかつきの方が使いやすいと思う。

道徳の授業時間だけではなく、子供たちの成長の日常生活の中で活用していく場合にはあかつきの方が適していると思う。

委 員：子どもたちに読み物を読み解くのではなく、この中から、自分自身への問いかけ・議論し考える道徳、そのための発問・提示という部分と、文字の大きさについて中1ギャップに配慮されていることもあり、あかつきが良いと思う。

会 長：これまでのご意見を踏まえ、中学校の道徳はあかつきでよろしければ挙手を願います。

[挙手：賛成多数]

【小学校 算数】

会 長：ここからは、小学校の同一出版社の教科書となる。

初めに算数から協議をお願いします。

委 員：あと1年のことなので、同じ教科書の啓林館でよいと思う。

委 員：調査員からの報告で、今使用されている中で特に不具合ややりにくいということや、消極的な意見はなかったので、引き続き啓林館でよいと思う。

会 長：他に意見は。なければ、算数は啓林館でよいと思う方は挙手を願います。

[挙手：全員賛成]

【小学校 理科】

会 長：続いて、理科について協議をお願いします。

意見がなければ、理科についても違和感がないということで、啓林館でよいと思う方は挙手を願います。

[挙手：全員賛成]

【小学校 図画工作】

会 長：続いて、図画工作について協議をお願いします。

意見がなければ、図画工作についても違和感がないということで、日文でよいと思う方は挙手を願います。

[挙手：全員賛成]

【小学校 保健体育】

会 長：続いて、保健体育について協議をお願いします。

意見がなければ、保健体育についても違和感がないということで、東書でよいと思う方は挙手を願います。

[挙手：全員賛成]

【小学校 社会】

会 長：続いて、社会について協議をお願いします。

意見がなければ、社会についても違和感がないということで、東書でよいと思う方は挙手を願います。

[挙手：全員賛成]

【小学校 地図】

会 長：続いて、地図について協議をお願いします。

委 員：帝国の方が色彩の使い方が地図としてわかりやすいと感じた。県境の色の使い方や、等高線の色分けなどが目にすっと入ってくるので、平面の地図から地形の立体を感じ取るのは帝国が良いと思った。

また、地図をめくった後の、それぞれの気候や特産品・工業などについての解説の頁も帝国の方が細かくルビが振ってある。中学年から高学年に渡って違う学年で使う地図なので、細かくルビが振ってある帝国の方が適していると思う。

委 員：あくまでも地図帳は資料集ではないので、地図本来の見方を中学校に繋いでいくことはすごく大事。標記の仕方はもちろん、構成などを考えたときにも、帝国の方が良いと思う。

委 員：地図帳本来の役割として、考えたときに帝国の方が好ましいと思う。

会 長：他に意見は。なければ、地図は帝国でよいと思う方は挙手をお願いします。

[挙手：全員賛成]

【小学校 国語】

会 長：続いて、国語について協議をお願いします。

委 員：「どちらが子どもたちにとってわかりやすいのか」と思って見たときに、光村の方は、この教材では何を学ぶのかが最初に示してあり、教材を学習していくとそのあとに、ねらいに沿った学習の流れが続いているので、子どもたちにとってはわかりやすいと思う。また、低学年の1文がとても短い。目に入る1文の量が少ないので読みやすい。

委 員：光村は、学習の目的や学び、振り返りや大切なことなど、系統的に示されているのでより学習しやすい。中学校で光村を使用しているので、系統的に指導しやすいと思う。

委 員：光村が、読み物としても教科的なことからしてもグレードが高い。ことばの決まりなどを反復的に学習できるような構成要素になっている。また、多様性の時代にあって、多様性を考えさせたりする視点からの文章などもあることから、光村の方が良いと思う。

委 員：考察文の取り扱いについては、光村の方が説明が丁寧である。文章を読み解く力をつけさせようとするところに配慮がある。

会 長：他に意見は。なければ、国語は光村でよいと思う方は挙手をお願いします。

[挙手：賛成多数]

【小学校 書写】

会 長：続いて、書写について協議をお願いします。

委員：前は、国語の教科書と同じ会社で、書写も光村とした。

会長：他に意見は。なければ、教科書と同じ会社ということで書写は光村でよいと思う方は挙手をお願いします。

[挙手：賛成多数]

【小学校 生活】

会長：続いて、生活について協議をお願いします。

委員：挿絵や写真が豊かで、自然物を使った遊びもふんだんに取り上げられていて、大変興味深く感じた。理科が啓林館なので生活も啓林館が良いと思う。

委員：低学年の子どもが使うことを考えたときに、啓林館の方が使いやすいのではないかと思った。

委員：理科が啓林館ということもあるし、別冊の小さなわくわくブックがあり、低学年の子どもは「外に出て何かを探そう」という時に、すぐに「ここにあるね」と活用できるので、啓林館が良いと思う。

委員：児童の安全性のことが書かれているので啓林館の方が良いと思う。

委員：幼稚園や保育所で、野原やさんぽで経験したであろうと思われることがかなり入っている。自分がこんなことしたな…ということが、書かれていて、親しみをもって学習につながっていくことを感じられると思うので、啓林館が良いと思う。

会長：他に意見は。なければ、生活は啓林館でよいと思う方は挙手をお願いします。

[挙手：全員賛成]

【小学校 音楽】

会長：続いて、音楽について協議をお願いします。

委員：前回の選定は、見た目より内容の良さを考えて教芸にした。

委員：教出の方は、音楽の授業でなければ聞かないだろうという曲が入っていた。

委員：前回、専門性が高いようだというので、わかりやすい教出を選んだ。その成果が上がっているので、引き続き教出でよい。

委員：調査員が教芸は子どもたちが歌いたいと思うような曲がたくさんあり、メッセージ性のある歌が多いと報告書に書かれていたので、教芸も捨てがたいと思っている。

委員：どちらも特色がある。教芸の方が鑑賞教材に日本のものを多く取り上げている。その部分で言うと教芸も良い。

委員：中学校では教芸を使っている。系統性でいくと教芸が良いと思います。

会長：これまでのご意見を踏まえ、音楽は教芸でよいと思う方は挙手をお願いします。

[挙手：賛成多数]

【小学校 家庭】

会長：続いて、家庭について協議をお願いします。

委員：開隆堂の方が、手順がわかりやすく説明されていて、子どもが興味をもってやってみたいなという内容で写真も見やすい。一口メモというのがある、知恵袋みたいなのが利用できる内容だと思った。

委員：写真が見やすくわかりやすいのと、知恵袋が決め手で開隆堂がいいと思いました。

委員：開隆堂の方が切り方の説明もわかりやすく、説明がなくても本だけでも、子どもたちが家でやってみようとしたときにもわかりやすいと思う。

会長：他に意見は。なければ、家庭は開隆堂でよいと思う方は挙手をお願いします。

[挙手：全員賛成]

会長：以上で採択選定協議がすべて終了した。

改めて、選定結果を報告する。

●選定結果

【中学校】

道徳・・・あかつき

【小学校】

算数・・・啓林館

理科・・・啓林館

図画工作・・・日文

体育（保健）・・・東書

社会・・・東書

地 図・・・帝国

国 語・・・光村

書 写・・・光村

生 活・・・啓林館

音 楽・・・教芸

家 庭・・・開隆堂

会長：選定理由は、後日、事務局から各市町（組合）教育委員会へ送付させていただく。

教育委員会では傍聴もあると思慮されるので、しっかりとした共通の協議結果が必要となる。それらを踏まえ、各市町（組合）教育委員会で採択をお願いします。

以上、議事を終了させていただく。

閉 会